

近美コレクション

わたしと絵のあいだに／ひと・ひと・人／ディマシオ美術館コレクション／この1点を見てほしい。

2020年7月4日(土) — 9月6日(日)

わたしと絵のあいだに

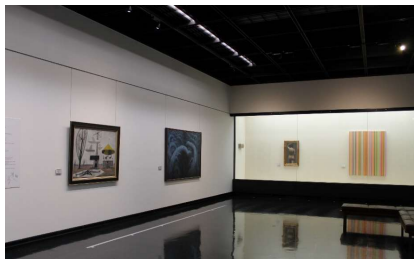
【展示室A 1階】

わたしたちは、ふだん美術館で、どのように絵を見ているのでしょうか？わたしが絵と向き合うとき、意識しているのはどんなことでしょうか？

ここではいつもの見方を少し変えて、美術館で絵を見るという行為そのものについて思いをめぐらし、絵について、ではなく、わたしと絵について考えてみましょう。

わたしと絵のあいだに、なにがあるのか、なにもないのか、あいだはどんなふうに変化するのか。じっくり探してみることにしましょう。

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	
〈さえぎられて、見る〉					
1	野田 弘志	THE-8	2003-2007(平成15-19)年	油彩・キャンバス	寄託作品(河村泳静氏蔵)
2	能勢 真美	初秋の庭	1966(昭和41)年	油彩・キャンバス	
〈ちらっと、見る〉					
3	久保 守	木馬のある風景	1958(昭和33)年	油彩・キャンバス	
4	徳丸 滋	森	1982(昭和57)年	油彩・キャンバス	
5	鹿子木 孟郎	裸婦	1902(明治35)年頃	油彩・キャンバス	
6	ブリジット・ライリー	VIVA	1985年	油彩・リネン	
〈わたしの気分、絵の気分〉					
7	花田 和治	海 I	1990(平成2)	油彩・キャンバス	
8	小野 州一	月	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	
9	岸本 裕躬	乗客(1)	1979(昭和54)年	油彩・キャンバス	
〈親密な絵〉					
10	俣野 第四郎	静物(2)	1924(大正13)年	油彩・キャンバス	
〈画家のすがた、鏡の中の絵〉					
11	深井 克美	自画像	1970(昭和45)年	油彩・キャンバス	



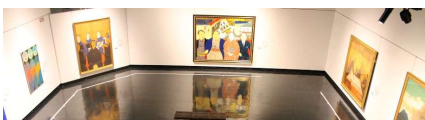


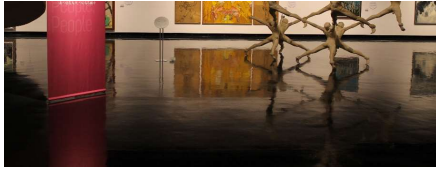
ひと・ヒト・人 ―あつまる人々・つらなる面々

【展示室A 1階】

人は社会の中で生まれ育ち、社会を構成する多くの、そしてさまざまな人たちと関わりながら生きています。けっして一人では生きられない。他者とともに生きる。それが人間という存在ともいえるでしょう。だからこそ、自らをとりまく人々に大きな関心を持ち、それらを表現することは、美術の大きな主題となってきました。なかでも、ひとつの画面に何人もの人々を収めて描く群像表現では、人物の配置やポーズ、喜怒哀楽の表情や情感などに、確かな構成力や描写力が示されます。そこにあつまり、居ならば、ひしめきあう人間たちの姿からは、さまざまに織りなされた人生の流転が伝わってくるかもしれません。本展ではそうした多彩なドラマを秘めた群像の数々を紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	
1	木村 多伎子	ペナレスの地	1998(平成10)年	紙・木版・屏風(六曲一隻)	
2	寺崎 広業	歳の市	1898(明治31)年	紙本彩色・軸	
3	田中 良	歳の市(A)	1966(昭和41)年	油彩・キャンバス	
4	山田 義夫	人梯	1938(昭和13)年	油彩・キャンバス	
5	伏木田 光夫	人間の季節―晩餐	1960―63(昭和35―38)年	中央:油彩、トノ、コンテ、クレパス・ボード 左右:油彩、コンテ・ペニヤ、和紙	
6	田中 忠雄	アリマタヤのヨセフの行い	1959(昭和34)年	油彩・キャンバス	
7	国松 登	横切る人々	1988(昭和63)年	油彩・キャンバス	
8	菊川 多賀	森	1962(昭和37)年	紙本彩色・額	
9	岩橋 英遠	阿寒湖畔の松浦武四郎	1970(昭和45)年	紙本彩色・額	北海道蔵
10	久保 守	開拓計画を練る	1971(昭和46)年	油彩・キャンバス	北海道蔵
11	片岡 球子	函館街頭風景	1971(昭和46)年	紙本彩色・額	北海道蔵
12	月岡 栄貴	和楽	1957(昭和32)年	紙本彩色・額	
13	熊谷 明宏	トリオ・サウンズ	1968(昭和43)年	油彩・キャンバス	
14	郭 徳俊	無意味972	1997(平成9)年	アクリル絵具・キャンバス、雑誌	
15	ダナ・ザーメチニーコヴァ	私の家族	1997(平成9)年	板ガラス・着色、ミクスドメディア	
16	米谷 雄平	あなたはだれですか又は複眼の旅	1966(昭和41)年	サインペン・紙	
17	桂川 寛	螺旋階段B	2003(平成15)年	水彩、グアッシュ、パステル・紙	
18	後藤 良二	空間の格子	1981(昭和56)年	鉄、FRP	
19	山内 壮夫	子を守る母たち	1953(昭和28)年	石膏	





太陽の森 ディマシオ美術館コレクション

〈アートギャラリー北海道〉

【展示室A 2階】

ゆたかな自然につつまれた北海道新冠町太陽に、廃校となった小学校を再生して誕生した「太陽の森 ディマシオ美術館」。

この美術館には、フランス幻想絵画の鬼才として注目を集めたジェラルール・ディマシオ（1938年生）の油彩やパステル、素描など、代表作200点以上が収蔵されています。展示室には3年かけて制作された世界最大とされる縦9メートル、横27メートルの巨大油彩画を核として、ディマシオの幻想的な世界があますところなく展覧されています。

道内各地の特色ある美術館の魅力を紹介する「アートギャラリー北海道」事業として開催する本展では、開館10周年を迎えるディマシオ美術館のコレクションから、ディマシオの絵画作品約10点に加え、同館が誇るアール・デコを代表する工芸作家ルネ・ラリックのガラス作品約30点もあわせて展覧します。

No. 作家名	作品名 ディマシオ作品には題名は付されていない	制作年(デザイン年)	技法・材質	備考／ 所蔵はすべて太陽の森 ディマシオ美術館蔵
1	ジェラルール・ディマシオ	1994年	油彩・キャンバス	径150cm
2	ルネ・ラリック	香水瓶・コティ／アンティーク	1910年	ガラス：型吹き、プレス(栓)
3	ルネ・ラリック	香水瓶・ルナリア	1912年	ガラス：プレス * ルナリアは植物の名前(ギンセンソウ)
4	ルネ・ラリック	香水瓶・コティ／レフルール	1912年	ガラス：型吹き、プレス(栓)
5	ルネ・ラリック	香水瓶・フルーレット	1919年	ガラス：型吹き、プレス(栓)
6	ルネ・ラリック	香水瓶・3羽のツバメ	1920年	ガラス：型吹き、プレス(栓)
7	ルネ・ラリック	香水瓶・カランダル	1929年	ガラス：型吹き、プレス(栓) * カランダルはイスラム系少数民族
8	ルネ・ラリック	香水瓶・カクタス(サボテン)	1943年	ガラス：型吹き、プレス(栓)
9	ルネ・ラリック	デカンタ・6人の人物	1914年	ガラス：型吹き(瓶)、プレス(栓)
10	ルネ・ラリック	花瓶・6人の女性	1912年	ガラス：プレス
11	ルネ・ラリック	カーマスコット・クリシス	1931年	ガラス：プレス * クリシスはギリシャ神話に登場するトロイの3女神
12	ルネ・ラリック	カーマスコット・ロンシャン	1929年	ガラス：プレス * ロンシャンはパリ・セーヌ河畔にある競馬場
13	ルネ・ラリック	鷺	1928年	ガラス：プレス
14	ルネ・ラリック	花瓶・ボーヴェ	1931年	ガラス：プレス * ボーヴェはフランスの地名
15	ルネ・ラリック	花瓶・ラングドック	1929年	ガラス：型吹き * ラングドックはフランスの地名
16	ルネ・ラリック	花瓶・ベトラルカ	1929年	ガラス：プレス(耳はプレスで別造して溶着)
17	ルネ・ラリック	花瓶・マーガレット	1929年	ガラス：プレス(耳はプレスで別造して溶着)
18	ルネ・ラリック	三脚鉢・シレーヌ	1920年	ガラス：プレス * シレーヌはギリシャ神話に登場する人魚
19	ルネ・ラリック	花瓶・雄羊	1925年	ガラス：プレス
20	ルネ・ラリック	花瓶・3匹の蝶	1913年	ガラス：ろう型成形
21	ルネ・ラリック	花瓶・ダナイード	1926年	ガラス：プレス * ダナイードはギリシャ神話に登場する泉の精

22	ルネ・ラリック	花瓶・牧神	1931年	ガラス：型吹き	
23	ルネ・ラリック	飾り鉢・オンディーヌ	1921年	ガラス：プレス	* オンディーヌはギリシャ神話に登場する水の精
24	ルネ・ラリック	花瓶・射手	1921年	ガラス：型吹き	
25	ルネ・ラリック	蓋付き花瓶・シレーヌ	1920年	ガラス：型吹き、プレス（栓）	* シレーヌはギリシャ神話に登場する人魚
26	ルネ・ラリック	飾り皿・カーネーション	1920年	ガラス：プレス、エナメル彩	
27	ルネ・ラリック	装飾のための金属板		5枚組	
28	ルネ・ラリック	パウダーケース・ロジェ&ガレ／愛の花	1922年	真鍮：パチネ彩色	
29	ルネ・ラリック	ピントレイ・泉の女神	1925年	ガラス：プレス	
30	ルネ・ラリック	飾り鉢・パンソン	1933年	ガラス：プレス	* パンソンは鳥の名前（アトリの仲間）
31	ルネ・ラリック	花瓶・さんざし	1921年	ガラス：型吹き（把手はプレスで別造して溶着）・文様エッチング	
32	ルネ・ラリック	花瓶・ひな菊	1923年	ガラス：型吹き	
33	ルネ・ラリック	シャンパングラス・ニッポン	1930年	ガラス：型吹き	〔4点組〕
34	ジェラール・ディマシオ		1991年	油彩・キャンバス	300×1050cm
35	ジェラール・ディマシオ		1978年	油彩・キャンバス	100×81cm
36	ジェラール・ディマシオ		1988年	油彩・キャンバス	142×106cm
37	ジェラール・ディマシオ		1989年	油彩・キャンバス	200×300cm
38	ジェラール・ディマシオ			素描・紙	〔4枚組〕
39	ジェラール・ディマシオ			素描・紙	〔4枚組〕
40	ジェラール・ディマシオ			素描・紙	〔5枚組〕
41	ジェラール・ディマシオ			素描・紙	〔3枚組〕
42	ジェラール・ディマシオ			素描・紙	〔4枚組〕



この1点を見てほしい。

【展示室A 2階】

美術館の様々な活動の基礎となるのは、美術や美術館に関する調査・研究です。とりわけコレクションを対象とした調査や研究活動は、美術館の最も重要な役割のひとつであり、また、実物を所蔵しているからこそ可能となる活用の領域でもあると言えるでしょう。「この1点を見てほしい。」は、当館コレクションから学芸員が1点を選び、多角的な研究を通して作品の奥深い魅力を紹介するコーナーです。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	ウィリアム・ホガース	侵略(フランス)	1756年	エッチング、エングレーヴィング・紙
2	ウィリアム・ホガース	侵略(イギリス)	1756年	エッチング、エングレーヴィング・紙